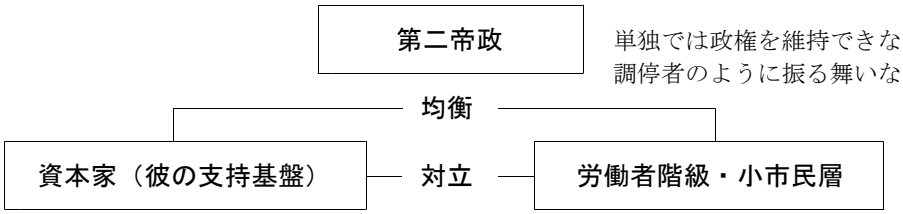
フランスの対外膨張政策　第二共和政（1848～1852）、第二帝政（1852～1870）

1）フランスでは、1848年の六月蜂起後、一院制・直接選挙による大統領制の**第二共和政憲法**が制定された。男子普通選挙による大統領選挙で、ナポレオンの甥、【1:　　】1808-73 が農民や産業資本家の支持を受け投票教の大半を獲得して大統領になった。彼はたくみな世論操作で民衆と教会の支持をとりつけ、「**1851年クーデター**」で共和派を排除し、1852年１月の新憲法で大統領の任期を10年とし権限を拡大した。

第二共和政
第 二 帝 政

2）1852年11月の国民投票で圧倒的支持を受けた彼は1852年12月に帝政を宣言し、皇帝【2:　　】※1　位1852-70と称した。これが【3:　　】である。

3）彼が政権を維持できたのは、相対立する国内諸勢力の支持を取り付け勢力均衡をはかるという独特の政治手法による。これを**ボナパルティズム**と言う。



単独では政権を維持できない両者の勢力均衡の上に立って調停者のように振る舞いながら独裁的な権力を行使する！

4）**ルイ・ナポレオン（ナポレオン３世）の業績**　伯父より４年も長く独裁者だった。

ナポレオン=ボナパルト（実質1799～1814）16年間　ナポレオン１世
ルイ=ナポレオン　（実質1851～1870）20年間　ナポレオン３世

1850年代は鉄道建設など産業基盤の整備が進み経済発展が促進された反面、政治的自由の規制や議会軽視の傾向があった。この不満を抑えていたのは**対外戦争**の勝利によるナポレオン３世の威信だった。

即位(1852)－－－「権威帝政」－－－**1860年**－－－「自由帝政」－－－退位(1870)

☆ 第二帝政期は、フランスの産業革命期である！ ※2

5）労働者むけの大規模な**住宅**建設を行う一方で、1864年まで【4:　　】**を禁止**した。

6）公共事業、都市計画事業を推進した。

①「【5:　　】の大改造」もこの期間。‥‥現在のパリの街並のマスタープランを作ったのはセーヌ県知事（1853-70）の【6:　　】。幅の広い直線道路が何本も貫通、運河も中心部では地下を通る。

②パリで【7:　　】　1855、67‥第二帝政期だけでも２回開催（他に1878、1889、1900　計５回も開催）
1867年の万国博覧会は、これを契機に【8:　　】が起こり**印象派**などに大きな影響を与えた。

7）国内の人気維持と資本家の要求を満たすため海外進出を行った。　①･･･⑤の順 11J

①**クリミア戦争**　1853-56　オスマン帝国側について参戦(1854)、**ロシアの南下を阻止したのでナポレオン３世の人気は上昇した。**

②アロー戦争　1856-60　仏人宣教師殺害事件を口実にイギリスと共同出兵、清と戦う。

③イタリア統一戦争 1859　**プロンビエール密約**でイタリア統一をめざすサルデーニャを支援した。直後に裏切ったが、結局、中部イタリア併合の承認と引替に**サヴォイア、ニースを得て領土を拡大**。№134参照。

スエズ運河着工　1859　フランス外交官**レセップス**の活躍。1869年開通。

④インドシナ出兵 1858-67　スペイン人宣教師処刑を理由にスペインと共同出兵。阮朝ヴェトナムを侵略、1859年サイゴン占領、1862年コーチシナ東部３省の領有を宣言（サイゴン条約）。1863年、カンボジアを保護国とし後の仏領インドシナの基礎を確保。

⑤【9:　　】1861-67　メキシコの外債利子不払い宣言に対してイギリス・スペインと共同出兵。英西の撤退後も増派し、メキシコの共和政府を倒して墺皇帝の弟**マクシミリアン**をメキシコ皇帝に仕立てた。メキシコ軍のゲリラ的抵抗と疫病で仏軍は壊滅、アメリカも抗議したため撤兵。撤兵時、マクシミリアンは救出を固辞、その後銃殺された。**ナポレオン３世の人気は地に落ちた。**

日本に干渉 1864　英米蘭とともに長州藩の下関砲台に砲撃を加えた。

⑥**普仏戦争**　1870.7-1871.2　ビスマルクの挑発でフランスの側から開戦（№135参照）。1870年9月にはナポレオン３世がスダンで包囲され降伏して捕虜となり、廃位されて帝政が終わってしまった。

8）第二帝政は次のものと同時進行‥‥プロンビエール密約(1858)、オーストリア=ハンガリー帝国成立（1867）、アレクサンドル２世による農奴解放(1861)。なお、ユゴー(1802-85)の『レ・ミゼラブル』はナポレオン1世没落直後の1815年から七月王政時代の最中の1833年までを描いており、この時代ではない。

ところで、なぜ２世を飛ばしてナポレオン３世なのか？‥‥ナポレオンとマリー=ルイーズ（最初の妻ジョゼフィーヌとは離婚）との間に生まれたフランソワ（生まれた時から1815年まで「ローマ王」）は、1815年、ナポレオンがエルバ島から帰還して「百日天下」をとった後に再度失脚した直後、４歳にもかかわらず短期間皇帝**ナポレオン２世**だった。つまり２世が実在した。その後２世だった幼児は、ドイツの貴族に引き取られ**ライヒシュタット公**という真面目な好青年に成長した。無理矢理ドイツ語環境に置かれた彼は、長じてようやくフランス語を習得し父の偉業は図書館で確認し、生涯父を尊敬した。結核のため惜しくも21歳で死亡。ルイ=ナポレオンは、ナポレオンの弟、オランダ王ルイ=ナポレオンとジョセフィーヌの「連れ子」との間に生まれた息子である。ルイ=ナポレオンから見てナポレオン１世は**伯父**にあたる。なお、父母の兄は**伯父**、父母の弟は**叔父**。

9）1870年、ナポレオン３世はプロイセンによるドイツ統一を阻止するために、ビスマルクに挑発されてプロイセン・フランス戦争を始めたが、**スダン**で敗れ、みずから捕虜になった。皇帝が捕虜になったことを知ったパリ市民は共和政移行を求めて市庁舎を占拠、1870年9月、国防政府樹立。第二帝政は崩壊した。

第 二 帝 政
第三共和政

1870年9月の臨時政府樹立をもって第三共和政成立とするのが従来の受験界の常識だったが、
ティエールの大統領就任（1871年8月）をもって第三共和政成立とする学者も多い。
ここから第二次世界大戦中の対独降伏（1940年６月）までを【10:　　】と呼ぶ。

10）第二帝政は崩壊したが、フランス、プロイセンはなおも戦争中である！パリ攻囲中に、既に占領したヴェルサイユ宮殿鏡の間で**ドイツ帝国**の成立が宣言された（1871年１月18日）。パリ開城はその10日後である。
1871年１月28日、パリ開城、フランス敗戦。
1871年２月26日、フランスは莫大な賠償金の支払いの他、【11:　　】を割譲する仮講和条約を締結した。これを締結した臨時政府の行政長官は【12:　　】11W（保守的な共和主義者）。
1871年３月３日　ドイツ帝国軍パリ占領。

パリ市民は、アルザス・ロレーヌ※両地域の割譲など屈辱的な内容を含むドイツとの仮講和条約に反対して国民軍を結成し、フランス政府からの自立を宣言した。これが【13:　　】　　**1871年３月18日～５月28日**

※アルサス・ロレーヌの位置を確認せよ。ドーデの短編『**最後の授業**』の舞台はアルザスの寒村。

人類史上最初の労働者階級による政権（コミューン＝自治政府）である。無償の義務教育、言論の自由、政教分離、女性参政権、行政の民主化、社会保障など革新的な政策が打ち出されていた。
≪このように始まった≫1871年３月18日、臨時政府は国防軍（パリ防衛のために国防政府と市民が設置）に参加していた市民を武装解除しようと兵を配備。市民が寄付したモンマルトルの丘の200門の大砲の撤去に反対する市民に対し、指揮官は発砲を命じたが兵は従わなかった。ティエールの臨時政府とその職員はヴェルサイユへ待避した。
≪このように終わった≫ドイツから捕虜17万人を返還してもらった【12】の臨時政府は、５月21日から総攻撃を加え、「**血の一週間**」と呼ばれる激しい市街戦の末、パリ=コミューンは**２ケ月で崩壊**した。市民の死者は２～３万人を数えた。
正式の講和条約（フランクフルト講和条約）の締結は1871年５月10日。総攻撃より前である。

【12】は1871年8月31日に大統領に任命されたが1873年に解任された。

パリ=コミューンの13年後、1884年、埼玉県秩父郡の農民が明治政府に対していわゆる秩父事件を起こした。1881年以降、現在でいうデフレスパイラルが発生し、農産物価格の下落で農村は深刻な不況下にあった。絹の消費地ヨーロッパも大不況で、1882年から1883年にかけて生糸の国内価格は大暴落。増税も重なり、高利貸しから借金する農民が増えた。秩父地方では、自由民権思想に接していた自由党員らが中心となり、増税や借金苦に喘ぐ農民とともに「困民党」を組織し、請願活動や高利貸との交渉を行うも不調に終わった。租税の軽減・義務教育の延期・借金の据え置き等を政府に訴えるための蜂起が提案された。目的は、暴力行為を行わず、厳しい「軍律」の下、整然と行動し、高利貸や役所の帳簿を滅失し、租税の軽減等につき政府に請願することであった。自由党解党２日後の1884年10月31日、下吉田の椋神社において蜂起が決行された。早くも翌11月1日には秩父郡内を制圧し、郡役所を占領して、元号を「自由自治元年」とした。高利貸や役所等の書類を破棄した。農民は善戦したが、東京から来た鎮台兵の火力の前に、11月4日に秩父困民党指導部は事実上崩壊、鎮圧された。パリ=コミューンと比べ非常に短いが、一地方の実効支配を行った。首謀者の一人、井上伝蔵は北海道に逃走し、名を変え開拓農民として成功した。1918年の死去寸前に息子たちを集め「俺は国賊井上伝蔵だ」と語り始めた。その聞き書きノートは戦時中も秘匿され、1960年代になってようやく研究者の手に渡され、正義のために立った規律正しい農民軍であり暴徒などではないことが具体的に明らかにされた。明治政府は自由民権運動を弾圧し尽くした。自由民権運動家の子孫の方々は、事件後も「お上」に逆らった逆賊と誹られ、史料の眠る蔵を研究者にも見せない方も少なくなかったが、1960年代以降飛躍的に研究が進み、その歴史的意義が明らかになった。秩父市には「秩父困民党無名戦士の墓」がある。秩父事件120周年を記念して制作された映画『草の乱』（2004年）にはエキストラとして地元の何千人ものボランティアが登場する。

第三共和政のフランス

4)以降は今後の展望のため書き出した。№153で詳述する。

1）王政の復活を求める勢力と共和派の激しい対立は続いた。
1875年　**第三共和政憲法**　がわずか１票差で成立。第三共和政の基礎が固まった。初代大統領は**ティエール。**
三権分立・二院制・任期７年の大統領‥‥民主的な内容を特つ
国民教育を重視　【14:　　】の無償化、義務化に踏み出す。また、公共事業も前進した。
1880年　**7月14日**を国民の祝日とし、フランス革命を原点とする国民統合のシンボルとなった。

2）大資本と結びついた政府は、植民地拡大に乗り出し、イギリスに次ぐ植民地帝国を形成した。
1881年　チュニス占領、【15:　　】を保護領化。実質**サハラ砂漠**をおさえる。
《混同に注意》**アルジェリア出兵**(1830)は**シャルル10世**。アルジェリアは1962年まで仏植民地。
1887年　**フランス領インドシナ連邦**　発足　　1899年ラオスも加える。
1898年　**ファショダ事件**　アフリカ縦断政策をとるイギリス軍と**スーダン**の**ファショダ**で衝突

3）過剰資本は、多くが**ロシア**などの外国に投資（資本の輸出）された。←露仏同盟(1891-94～1917)

4）大不況の1880年代には議会政治への不満が噴出、労働運動や社会主義運動が高揚した。
1889年　【16:　　】将軍によるクーデタ未遂事件（軍部独裁を企画）
サンディカリズム（議会主義を否定、労働組合の直接行動で社会変革）もこのころから出現

5）1890年代、排外的ナショナリズム、反ユダヤ主義の台頭
1894-99　【17:　　】事件　ユダヤ系軍人のドレフュス大尉に対するスパイ容疑事件。1896年に真犯人が見つかったのに終身刑のまま。【18:　　】（自然主義の作家）が批判。「私は弾劾する」。急進派政治家のクレマンソー（後に首相として第一次世界大戦を勝利に導く）も批判。1899年特赦。1906年無罪。

6）20世紀初頭　急進共和派が主導権を握った。 ①政教分離を実行　②社会政策を行う　③1912年　モロッコを保護国化